



あゝ学舎よ夢多き



根室高校HP QRコード

【探究活動・2年生】総合的な探究の時間 … ジブンノミライ

この活動は、希望進路先（学校・職業・職種等）について調べたり、その内容をまとめたり、発表する活動を通して、具体的な進路目標を定めるとともに、自己の進路実現に向けた活動や取組を促進させることをねらいとしています。

●実施スケジュール（主な予定）

11月28日～12月20日までの10時間の授業で実施

第1回 11月28日（火）6校時 概要説明

第2回 12月1日（金）7校時 ※進路費用に関する講義（体育館）

第5回 12月8日（金）7校時 中間発表（道徳館）

第8回 12月18日（月）7校時 発表練習

第9回・第10回 12月20日（水）6・7校時 相互発表

●授業の進め方

- ・発表資料は発表原稿と発表スライド資料の2つ
- ・進路指導部の資料などを参考にして各自で作成
- ・発表内容など基本的な構成は流れに沿って作成

●この探究活動による育成する資質・能力

「論理的思考力」：客観的データや根拠を踏まえ原因を分析したり、自らの考えを道筋を立てて構築する力

「自己実現力」：社会の中で生きる自分を想像しキャリアアップを図り、自己実現や自立する力

★ 2年次主任 井川先生へのインタビュー

2年次主任の井川先生から、今回の「ジブンノミライ」の活動への思いを聞きました。



昨年度、2年生のあるクラスで実施していました。進路活動に役立つ取組であったため、2学年次団の先生方に提案しました。この活動は、10月に実施したインターンシップや発表会から継続した活動として位置付けています。

見学旅行後、早期に進路意識を高め、個々の生徒が主体的に自己の進路活動に取り組んで欲しいと思っています。今回、調べて終わりではなく、発表やプレゼンをする場を設けます。この発表する活動により、将来の進路に係る考えを整理して他者に説明することにより、進路についての思考レベルを一段高められと思っています。

進路の3者面談において、保護者へのプレゼンも行う予定です。

【受賞式・1年生】根室税務署長賞の受賞

11月14日（火）、令和5年度税の作文コンクールにおける根室税務署長賞の受賞式が校長室で行われました。受賞者は、1年生の田中愛果さんです。作文のタイトルは「税を収めること」、800字程度にまとめました。

作文の内容は、身近にいる家族の病気などで医療費の出費があった。医療費控除など経費負担軽減措置は税金で賄われており、安心して医療機関に受診することができる。税金は公的なものとして、生活する上でも役立ち、税の必要性を感じた。



税務署長の方からは、田中さんの作文は、税を違った視点や発想で捉えてまとめられており、斬新だったとの言葉も頂いています。



【生徒指導】 闇バイト防止のための校内放送の実施

11月8日（水）～15日（水）、以下の内容で4回にわたり、昼休み校内放送で闇バイト防止のための校内放送教材を音声で流しました。近年、闇バイトと称した犯罪に青少年が巻き込まれる状況が全国的に後を経たない状況にあります。このため、子どもたちが、生涯通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し、社会に貢献できる資質・能力を育成する必要があります。なお、この音声教材は、北海道警察と石狩管内の高校が協力して作成したものです。

《昼休みでの放送内容》

- ① 11月8日（水）「闇バイトとは」
- ② 11月13日（月）「闇バイトの実態（手を出さないために）」
- ③ 11月14日（火）「闇バイトに巻き込まれないために」
- ④ 11月15日（水）「特殊詐欺に被害に遭わないために～私たちができること～」

【進路指導】 地域医療を支える人づくりプロジェクト事業～高校生メディカル講座

11月16日（木）放課後、北海道大学大学院医学研究院 教授 高橋 誠 氏に本校へいただき、18名の生徒が参加して高校生メディカル講座を開催しました。この事業は、将来における本道の地域医療を支える人材を育成するために実施されており、その一環で、生徒の医療に対する興味・関心を高めるとともに、進路実現に向けた学習意欲高揚を図るため、道内医療大学と連携して実施しました。

講演テーマは、「知ってるようで知らない"からだ"のこと」です。生徒がスマホを使い、講師からの質問への回答を即座に画面に映し出ししながら、3つことを話していただきました。

一つ目は、「♥（心臓）はどこにある？（心臓マッサージとAED）」心臓の位置、心臓が止まったら、その原因に係る専門的な話がありました。さらに、心臓が止まった場合、何も処置しなかった場合と①心臓マッサージ、②AED（電気ショック）をした場合の生存率と社会復帰率が格段に異なっているとのこと。何もしなかった生存率7%→①実施14.1%、②実施49.3%。何もしなかった社会復帰率32%→①実施9.7%、②実施40.1%とのこと。



★★本校設置箇所2ヶ所【AED】職員玄関前、体育教官室（覚えておきましょう）★★

二つ目は、「どうやって息を吸っている？」。閉鎖空間にある風船が膨らむ動画から、科学法則であるボイルの法則から気圧下がると体積が膨らむ原理をもとに、横隔膜を使った呼吸の原理の説明がありました。さらに、呼吸方法について、胸式呼吸は、素早い呼吸ができ、交感神経を刺激するので、シャキッとできる。腹式呼吸は、深い呼吸なので副交感神経を刺激し、リラックスできること。

三つ目は、「痛い所が病気とは限らない」。両肩から首や右腕のしびれがある患者は、首や腕などの病気ではと思いがち。しかし、心電図からは虚血性変化が読み取れ、心臓の病気である虚血性心疾患との診断結果が下された。一般的に虚血性心疾患の症状は、前胸部やみぞおちに痛みを感じるが、それ以外に左肩、首、左腕などに痛みが広がることもある。心臓の病気で左肩や首が痛くなる理由は、冠動脈が狭窄し、心筋が酸素欠乏になり（虚血）、痛覚神経が興奮して痛みの信号が中枢へ流れることから起こる。

以上のような専門的な話をわかりやすくしてもらいました。生徒達は、高校で学んでいる理科の知識をもとに、医療に係る専門的な話を興味・関心を持ちながら、♥（心臓）に関する話を話を聞き、医学医療の意義を感じていました。

ご講演を頂いた高橋 誠 先生ありがとうございました。なお、後日、生徒の感想を学校通信で紹介する予定です。